

# 赤十字かごしま

2016  
Vol. 200



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

## 平成28年熊本地震に対する支援活動

隣接県である熊本県において、4月14日、16日に震度7の大規模地震が発生し、その後も強い余震が続き、多くの方々が被災されました。

鹿児島県支部は、発災直後から情報収集を行い、県内赤十字4施設の職員が連携して、救援物資の輸送や医療救護班の派遣などの支援を行いました。



# 平成28年熊本地震 鹿児島県支部の支援活動報告

## 救援物資

4月14日夜に熊本県で発生した地震被害に対して、日赤鹿児島県支部では、日赤熊本県支部からの要請に基づき、救援物資（毛布1,000枚）を緊急輸送しました。

毛布を積んだトラックは、4月15日午前4時7分に出発し、6時50分に日赤熊本県支部へ到着し、その後毛布は各避難所の被災者の方々へ届けられました。

また、暑さが厳しくなりつつあった被災地からの要請に基づき、6月15日にタオルケット500枚を輸送しました。



発災後、熊本県支部の指示に基づき毛布1,000枚を積み込む様子  
(4月15日3時3分 日赤鹿児島県支部)



「毛布」  
(約1,400mm×約2,000mm)



「タオルケット」  
(約1,400mm×約1,900mm)

### 熊本県支部への救援物資送達内容

- 毛布1,000枚
- タオルケット500枚

※災害時にお届けする毛布・タオルケットは、真空パックで保管しています。

## 日本赤十字社鹿児島県支部の初期対応

4月14日	21:26	熊本県・益城町を震源とする震度7の地震発生
	23:00	鹿児島県支部災害警戒本部設置
15日	0:00	鹿児島県支部災害対策本部設置
	4:07	救援物資(毛布1,000枚)とともに、連絡調整員2名が、日赤熊本県支部へ向け 出発
16日	1:25	震度7の地震発生
	5:17	第1救護班6名・連絡調整員1名、計7名を派遣

## 日本赤十字社鹿児島県支部の救護活動

期間	班	人員	場所・活動実績等
4月16日(土)～18日(月)	1	6	益城町総合体育館 ・ 宇城市アセスメント調査
4月21日(木)～25日(月)	2	7	益城町総合体育館 ・ 熊本赤十字病院支援
4月27日(水)～30日(土)	3	6	益城町総合体育館 ・ 空港ホテルエミナース
5月18日(水)～21日(土)	4	6	南阿蘇中学校
熊本県支部災害対策本部要員		(延べ 8名 ・ 32日間)	
救援物資輸送		(延べ 3名 ・ 3日間)	毛布 1,000枚 ・ タオルケット 500枚
<b>合計</b>		<b>延べ 36名 ・ 51日間</b>	

## 救護活動

4月16日の本震後、医療救護班第1班が被災地へ出発。その後、6月2日までに救護班を計4班（計25名）派遣しました。

救護班は、益城町総合体育館や南阿蘇村の長陽中学校体育館などで、避難所における医療救援や巡回診療、医療ニーズの調査等を行いました。

また、日赤熊本県支部災害対策本部においては、派遣した本部運営支援員等延べ11名が本部業務に従事しました。



▲救護班第1班6名および連絡調整員1名の出発式の様子  
(4月16日5時17分 日赤鹿児島県支部)



▲熊本県支部災害対策本部全体会議  
(4月19日8時26分 日赤熊本県支部)

▶第2班診療活動  
(4月22日10時22分 避難所体育館に設置された日赤のdERU<仮設診療所>内)



▲第1班診療活動  
(4月16日16時12分 益城町総合体育館内)



## 平成28年熊本地震災害義援金受付状況

鹿児島県支部受付額

1億7,927万446円

日本赤十字社本社(全国)受付額

264億9,370万6,442円

ともに平成28年9月21日時点 集計確認分

この度の熊本地震災害に対し、多くの義援金へのご協力をいただきありがとうございます。  
上記の通り義援金受付状況のご報告とお礼を申し上げます。  
赤十字はこれからも義援金受付をはじめ、皆様に寄り添った活動を続けて参ります。



日本赤十字社は災害により被災された方々を支援するため、下記の災害義(救)援金を受け付けております。  
(平成28年9月26日現在)

### 国内義援金

- 平成28年熊本地震災害義援金 受付期間:平成29年3月31日(金)まで
- 平成28年台風10号等災害義援金 受付期間:平成28年10月31日(月)まで
- 東日本大震災義援金 受付期間:平成29年3月31日(金)まで

### 海外救援金

- 2016年イタリア中部地震救援金 受付期間:平成28年11月30日(水)まで
- 中東人道危機救援金 受付期間:平成29年3月31日(金)まで

※上記、義(救)援金受付期間については、延長になる場合もあります。

義(救)援金受付についての詳細は、日本赤十字社鹿児島県支部(TEL099-252-0600)までご連絡いただくか、またはホームページ(<http://www.kagoshima.jrc.or.jp/>)をご覧ください。

日赤鹿児島県支部

検索



災害が起こった時に、赤十字が義援金を集めているけど、義援金の一部は赤十字の活動資金になるの？

## Answer!!



いいえ、義援金は100%全額を被災者の皆様へお届けしています。

### 義援金

お寄せいただいた義援金は、手数料などを一切いただくことなく、全額を被災県に設置された「義援金配分委員会」を通じて、被災された方々へお届けしています。

みなさまからの  
義援金



日本赤十字社

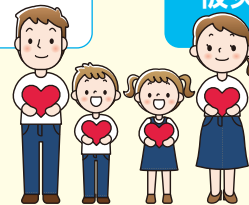
義援金配分委員会

被災した各都道府県  
ごとに設置

被災市町村を通じて

**全額**

被災された方々へ



### 活動資金

被災地での救護活動や救援物資の配布はすべて皆様から支援いただいた活動資金で賄われています。赤十字の活動を通じて被災者を救う活動資金(社資)は義援金と同様に大切な支援です。

みなさまからの  
活動資金(社資)



日本赤十字社

災害救護活動など日本赤十字社の人道的支援

災害時は医療支援、こころのケア、毛布などの救援物資の配布などに、平時は救急法等の講習普及、ボランティアや青少年赤十字の育成などに役立てられます。



## 新ワークシステム導入について

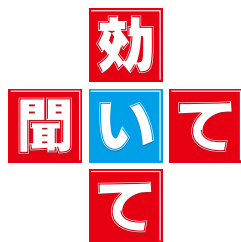
放射線科部

近年の医療は機器の高度化、情報化が進んでおります。また、画像もアナログからデジタルへの移行など、変革の時期を迎えております。当院の画像情報も自動現像システムから2003年2月にCRシステム、2015年11月にフラットパネル（FPD）へと移行しました。アナログからデジタルとなり無線で操作コンソールやPC、PACSに画像を送信できるようになりました。

新CRシステム（フラットパネル（FPD）システム）は、操作性や可搬性が向上し撮影時間の短縮に絶大な効果を発揮します。さらには、X線被曝の低減、患者さまの待ち時間を大幅に短縮することができます。また、これまでよりも高画質となり日々の診療の一助として、ひいては患者さまが満足いただける医療の提供につながると考えています。



本システムの整備にあたり、(社)日本損害保険協会寄附金を整備資金の一部として充当させていただいております。



VOL.65

## 「ロコモティブシンドローム」を予防しよう!

鹿児島赤十字病院 整形外科 **砂原伸彦**  
スナ ハラ ノブ ヒコ

「ロコモティブシンドローム（略称：ロコモ/和名：運動器症候群）」は加齢に伴って、骨・関節・筋肉など身体を支えたり動かしやすくなるための器官や組織（運動器）が衰えている、または衰えはじめている状態のことです。そのまま放っておくと将来、介護が必要な状態になってしまう危険性が高くなります。

自分の「運動器」の衰えを早めに察知してロコモ予防に努めることが大切です。骨や筋肉のピークは20～30代とされています。今後の生活で何もしないと骨も筋肉もどんどん衰えていきます。

以下の1つでも当てはまればロコモの心配があります。

1. 家の中でつまずいたり滑ったりする
2. 階段を上がるのに手すりが必要
3. 15分くらい続けて歩くことが出来ない
4. 横断歩道を青信号で渡りきれない
5. 片脚立ちで靴下がはけなくなった
6. 2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難である（1Lの牛乳パック2個程度）
7. 家のやや重い仕事が困難である（掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど）



骨・関節・筋肉の衰え

歩行能力の低下

要介護や寝たきりになる危険性

ロコモ予防にはロコモトレーニングの「片脚立ち」と「スクワット」がおすすめです。ストレッチや関節の曲げ伸ばし、ラジオ体操、ウォーキングなど暮らしの中に色々な運動を積極的に取り入れてロコモを予防しましょう。



【この記事についての問い合わせ先】

鹿児島赤十字病院 ☎099-261-2111 (代表)

# 子ども達と赤十字

夏のシーズンは、子ども達が赤十字に  
ふれあう機会がたくさんありました♪



## 親子で体験！「海の安全教室」

身近なものを使って浮く方法やおぼれた人を安全に救助する方法など、水の事故からいのちを守るために必要な知識や救助方法を親子で楽しく学びました！



## 青少年赤十字

リーダーシップ・トレーニング・センター

リーダーとして必要な自主・自律の精神を身につけ、赤十字や青少年赤十字に関する知識や技術、生活態度全般にわたっての理解を深めました。



## 日本赤十字社第6ブロック 青少年赤十字海外派遣事業

鹿児島県内の高校生2名をベトナムへ派遣し、海外青少年との交流や異文化への理解を通じて国際性豊かな青少年を育成するためのプログラムを九州管内の仲間とともに体験しました。



## 楽しく学ぼう！「キッズ献血」

小学4～6年生が医師・看護師・献血者役などに扮し、献血に楽しくふれあいながら、献血の重要性を学びました。



## 日本赤十字社 鹿児島県支部 新支部長 就任のお知らせ

日本赤十字社鹿児島県支部評議員による審議の結果、新たに鹿児島県知事 三反園訓が選出され、平成28年7月28日付で支部長に就任しましたことをご報告いたします。

## ご自身や故人の思いを赤十字へ

近年、ご自分や故人の財産の一部、或いは「香典返し」に代えてご香典の一部を広く社会に役立てたいというご相談やお申し出を多くいただいております。

当県支部では、こうした尊いご意思に応えるために、遺産・相続財産の寄付などを承っております。また、これらの寄付金には非課税となる税制上の優遇措置があります。

詳しくは、日本赤十字社鹿児島県支部組織振興課までお問い合わせください。

 **日本赤十字社** 鹿児島県支部  
Japanese Red Cross Society

 **099(252)0600**

URL : <http://www.kagoshima.jrc.or.jp/> E-mail : [shibu-rc@po.minc.ne.jp](mailto:shibu-rc@po.minc.ne.jp)

日赤鹿児島県支部

検索 